

様式3

質疑No.	資料名及びページ番号	質疑事項	回答
1	KK-07, 08 建設工事 I 期 A-005	新庁舎建設工事（I 期）において工事規模的に、監理事務所35㎡を含むと5.6mx28.8m程度必要です。仮設計画図④の位置では設置が難しいため、工事範囲外で事務所用地として無償でお借りできる場所はございませんでしょうか。	工事場所の近隣において、工事用地として使用できる市有地はありません。 なお、入札説明書に記載のとおり、技術対話および技術提案書の提出により設計内容を変更することは可能です。
2	KK-04～13 細目別内訳書 （金抜き）－ 共通仮設費	仮設計画図①～⑬、細目別内訳書（金抜き）_共通仮設費に記載の仮設は参考とし、実施仮設は各社による計画によるものと考えてよろしいですか。今回、指定仮設が有るようでしたら、御指示下さい。	仮設計画図に記載事項は全て指定仮設です。 なお、入札説明書に記載のとおり、技術対話および技術提案書の提出により設計内容を変更することは可能です。
3	建設工事 I 期 A-003	周辺民家、事業所等の建物調査を行うと有りますが、対象家屋を御指示下さい。	工事場所周辺における家屋調査の範囲および方法は、監督職員と協議のうえ、受注者がその責任において定めて下さい。
4	建設工事 I 期 A-005	工事PR看板は、看板材支給の取付費のみと考えてよろしいですか。看板材も今回工事を含む場合は、仕様を御指示下さい。	工事PR看板の仕様について、屋外用カラーシート貼りパネル（3,000W×1,500H、分割可）を基本とし、工事概要や完成予想図の掲載を想定していますが、より有効なPR方法がある場合は技術対話および技術提案書により提案ください。
5	建設工事 I 期 A-013 建設工事 II 期 A-010	舗装工事において、路床土支持力比(CBR)試験、路床締め度試験、現場CBR試験を行うと有りますが、各期毎の試験数を御指示下さい。	以下の通りお見込みください。 路床土支持力比(CBR)試験及び現場CBR試験：I 期で各3カ所、II 期で各3カ所。 路床締め度試験：I 期で3カ所、II 期で10カ所。
6	建設工事 I 期 A-013	本体建物による電波障害調査は、別途と考えてよろしいですか。今回工事に含まれる場合は、測定ポイント数を御指示下さい。	電波障害調査（15箇所測定）は本工事に含まれます。
7	KK-01～12	仮設計画におけるクレーン等の揚重計画は、参考資料として考えて弊社の仮設計画との差異に対して増減の発生は無いと考えてよろしいでしょうか。	仮設計画図に記載事項は全て指定仮設です。 なお、入札説明書に記載のとおり、技術対話および技術提案書の提出により設計内容を変更することは可能です。
8		北館及び南館の解体時、既存図に記載の無い機等の事務備品の撤去は、別途と考えてよろしいでしょうか。本工事の場合、撤去必要な備品の数量をご指示ください。	機等の事務備品の撤去処分は本工事に含まれません。
9	KK-06	仮設計画図③の既存北館X9通の基礎を山留前に先行撤去とありますが、基礎深さ及び水位より山留は必要ないでしょうか。ご指示下さい。	現場状況により山留の先行設置が困難であることから、山留は設置しません。なお、湧水についてはポンプアップによる排水処理とします。
10	建設工事 I 期 S-002	3.1コンクリートにおいて、設計基準強度の確認ですが、基礎部及びB1躯体1Sまでは、免震装置取付躯体を除き、30N/mm2と考えてよろしいでしょうか。	S-002 構造共通標準図に記載の通り、1階立上りまで30N/mm2とします。
11	建設工事 I 期 A-093～096	6階平面詳細図の丸柱は耐火被覆の記載がありますが、発電機室電気室等見掛け鉄骨柱も耐火被覆 t-250mmが必要と考えてよろしいでしょうか。	別紙「質疑No.11補足図」のとおり。
12	建設工事 I 期 S-052	免震装置リストでSSB15NとSSB20Nの立上り部分は上部梁断面図の斜線部分と同じ部分と思いますが、立上り寸法1500*1500、上部梁断面図の斜分は2121.3*2121.3となっています。2121.3*2121.3を正と考えてよろしいでしょうか。	1500×1500を正とします。
13	建設工事 I 期 S-090～097	北館の山留ですが、山留計画図は参考図と考え、実施山留との相違に関して変更増減対象外と考えてよろしいでしょうか。	参考図ではありません。
14	建設工事 II 期 S-020	壁断面リスト1でRW60Dの下部範囲が下記の様に相違しています。1FL-2550を正と考えてよろしいでしょうか。 ・断面図:1FL-2550 ・備考:1FL-1550	別紙「質疑No.14補足図」のとおり。
15	建設工事 I 期 A-109, 112	キャットウォーク及びキャットウォーク下地は特記なき限り錆止め塗装と明記されていますが、仕上げ塗装は明記されていません。不要と考えてよろしいですか。ご指示ください。	お見込みのとおりとしてください。
16	建設工事 I 期 A-111 議-103	傍聴席ガラス手摺下腰壁部の下地鉄骨の支柱（□-100x100x4.5@900の足元の詳細が不明です。ベースプレートB.PL-16x130x300（SS400）、アンカーボルト2-M16（あと施工アンカー）程度と考えてよろしいですか。ご指示ください。	別紙「質疑No.16・17補足図」のとおり。
17	建設工事 I 期 A-111 議-104	傍聴席手摺壁の下地（厚さ100）の部分が仕様不明です。傍聴席ガラス手摺下腰壁部と同様と考えてよろしいですか。ご指示ください。	別紙「質疑No.16・17補足図」のとおり。
18	建設工事 I 期 A-005 S-002 S-041～046	捨てコンクリート厚さが特記仕様書及び構造共通標準図では50mmとなっていますが、基礎梁リストでは60mmと表示されています。（耐圧版リストは50mm）厚さ50mmと考えてよろしいですか。ご指示ください。	別紙「質疑No.18補足図」のとおり。

様式3

質疑No.	資料名及びページ番号	質疑事項	回答
19	建設工事Ⅰ期A-006 設計書P28	耐火被覆におきまして耐火塗料が明記されていますが、施工箇所が不明です。ご指示ください。	【A-090 5階平面詳細図(2)】を参照ください。5階X8-Y6の柱に表記しています。
20	市庁舎北館他解体工事A-03	外構・工作物撤去図(3)に記載の擁壁の撤去ですが、断面詳細が不明です。ご指示ください。又、設計書において、擁壁撤去の内訳項目の記載場所をご教示頂けないでしょうか。	擁壁断面詳細は【K-54 擁壁配筋図】をご参照ください。細目別内訳書における数量は、市庁舎北館他解体工事 解体工事 SRC造基礎コンクリート解体に含みます。
21	市庁舎南館他解体工事S-020	南館の撤去ですが、山留計画図がございません。既存山留を利用し撤去用の外周山留は不要と考えて宜しいでしょうか。山留が必要な場合は、山留計画図によりご指示下さい。	既存山留を利用しての解体撤去を想定していることから、撤去のための山留は不要と判断しています。
22	市庁舎南館他解体工事A-03	工作物図の左下の「6 メッシュフェンス」ですが、誤記として「7 スロープ」と置換えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりとしてください。
23	市庁舎南館移転改修工事(Ⅱ期)E-02	自家用電気工作物の電気主任技術者選任に関する費用は別途と考えますがよろしいでしょうか。	お見込みのとおりとしてください。
24	市庁舎南館移転改修工事(Ⅱ期)E-07, 10	動力盤M-Bへの幹線M13は既設と解釈してよろしいでしょうか。	お見込みのとおりとしてください。
25	市庁舎南館移転改修工事(Ⅱ期)E-10	注記2に動力盤M-Bの移設元の調査に関する記載がありますが、動力盤M-Bは図中記載通り既設であり工事範囲外と考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりとしてください。
26	市庁舎南館移転改修工事(Ⅱ期)設計書P. 37	端子盤T-1の記載がありますが、図面上確認できません。不要と考えてよろしいでしょうか。	別紙「質疑No.26補足図」のとおり。
27	市庁舎南館移転改修工事(Ⅱ期)E-07, 10, M-06, 09	電気設備警報設備と機械設備中央監視設備の内容に不整合があります。管理点・工事区分等ご指示願います。	別紙「質疑No.27補足図」のとおり。
28	市庁舎南館移転改修工事(Ⅱ期)E-14	新設中継端子盤2の1次側配線が記載されていません。ご指示願います。	別紙「質疑No.28補足図」のとおり。
29	富田林市新庁舎建設工事(Ⅰ期)E-002	新設する自家用電気工作物の工事期間中の電気主任技術者選任に関する費用は別途と考えますがよろしいでしょうか。	お見込みのとおりとしてください。
30	富田林市新庁舎建設工事(Ⅰ期)E-095, 102	防災アンテナの仕様及び取付方法等不明です。ご指示願います。	別紙「質疑No.30補足図」のとおり。
31	富田林市新庁舎建設工事(Ⅰ期)E-104, 112	FMアンテナ・マスの仕様及び取付方法等不明です。ご指示願います。	別紙「質疑No.31補足図」のとおり。
32	富田林市新庁舎建設工事(Ⅰ期)E-125, 設計書R. 331	図面機器構成にカードキー1200枚がありますが、設計書に記載ありません。本工事と考えてよろしいでしょうか。	カードキー1,200枚、カードキーの登録・設定費用は本工事に含みます。
33	市庁舎南館移転改修工事(Ⅱ期)M-17, 設計書P. 54	圧送污水管・雑排水管の撤去が示されていますが、図面上樹3ヶ所確認できます。樹3ヶ所も撤去すると考えられますが、撤去する樹の仕様をご指示ください。	コンクリート樹、樹径600Φ(重荷重鉄蓋)、深さ1,250H×3か所をお見込みください。
34	富田林市新庁舎建設工事(Ⅰ期)M-30, 43, A-141	EHP-31のEAがクトはAG-601に接続されと考えられますが、FSM-5の排煙ダクト開放部の排煙がリ(建築工事)の詳細が不明です。ご指示願います。	別紙「質疑No.34補足図」のとおり。
35	富田林市新庁舎建設工事(Ⅰ期)P-03, 04	特記仕様に「植栽用灌水システムへの配管中にバキュームブレーカを設ける」とありますが、平面図上図示されておりません。取付詳細等ご指示願います。	別紙「質疑No.35補足図」のとおり。
36	富田林市新庁舎建設工事(Ⅰ期)P-18	受水槽置場からのドレン配管、オーバーフロー配管の放流先は図面の位置でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりとしてください。